

# 100億宣言

# 信越理研株式会社（製造業）



各種生産ライン（左ラック、右上フープめっき、右下半導体）

- 本社所在地：長野県長野市若穂川田3800-10
- 事業概要：電子部品、機械部品、自動車部品等、多彩な金属素材の表面加工
- 常時使用する従業員：131名（2025年2月時点）
- 現在の売上高：59億円（2025年2月期）
- 法人番号：9100001001276
- Web：https://shinetsu-riken.co.jp/

## 企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役  
服部 俊直

全社員の知恵と工夫で、お客様（顧客）に「ありがとう」といわれる製品づくりを目指します。

信越理研は金属表面処理において、独創性の発揮・技術革新の展開・環境保全対策をもって「顧客の依頼にノーと言わない」を可能とし、グローバルに社会の問題解決・持続可能性の実現に貢献し、自らも成長し続けます。新技術開発を常に続け、競合他社との優位性をもって差別化により、高付加価値の製品受注獲得に努めます。自動化による工場環境整備や従業員のエンゲージメント向上を目指す待遇改善への投資によりビジョンを実現したく考えています。

## 売上高100億円実現の目標と課題

### 実現目標

2029年の売上高達成に向け、年率14%程度の成長を目指す。  
全体売上100億のうち、モビリティ分野、半導体、産業機器 80億を目指す。

### 課題

- ・高硬度高純度の特殊銀めっきに代表される技術力の維持、高度化、新技術開発の永続
- ・脱炭素をはいけいに電動化が進むモビリティ分野への対応
- ・成長分野であるパワー半導体への参入

## 売上高100億円実現に向けた具体的措置

### 目指す成長手段

1. 独創性の発揮、技術革新の展開
  - (1) 高度化・高純度の特殊銀めっきに代表される技術力の維持、高度化
  - (2) 脱炭素を背景に電動化が進むモビリティ分野への対応
  - (3) 成長分野であるパワー半導体への参入
2. 環境への配慮
  - (1) 地域と共生する「企業として排水管理の徹底継続
  - (2) 脱炭素への対応(「CO2排出原単位の削減」など)
3. サステナビリティの観点
  - (1) 新規技術の開発、同業他社との優位性確保
  - (2) 地域社会への貢献
  - (3) 従業員のエンゲージメント向上を目指す
4. リスク対応
  - (1) 新規技術の開発 → 新分野開拓を常に考えていく
  - (2) シリコンサイクルのマイナス影響最小限に → 新規技術の開発

### 実施体制

モビリティ関連ABSにおける顧客とのフォーキャスト24億円、新分野パワー半導体、EV・HV/PHV/バス部門における顧客フォーキャスト53億円の実行に向けて

- 1.(1) ⇒ ABS製品は「プレスフィット端子」として受注。競合他社はあるものの、プレスフィット工法を可能とする表面処理技術は圧倒的優位を發揮。
- 1.(1)(2) ⇒ バスパーの需要拡大にともない加工方式転換を実現し、大幅増量対応可能。ラック方式から連続フープめっき方式への転換により生産効率4倍に。
- 1.(3) ⇒ 半導体ウェハ表面処理用の新規設備導入により需要増に対応。パワー半導体ウェハへの無電解めっきでの対応。長年培ってきた表面処理技術、車載部品への表面処理実績によって車載デバイスに要求される高品質信頼性をクリア。

※本宣言は企業自身がその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

## 売上高100億円実現の目標

2029年の売上高達成に向け、年率14%程度の成長を目指す。  
全体売上100億のうち、モビリティ分野、半導体、産業機器 80億を目指す。

### 売上高

